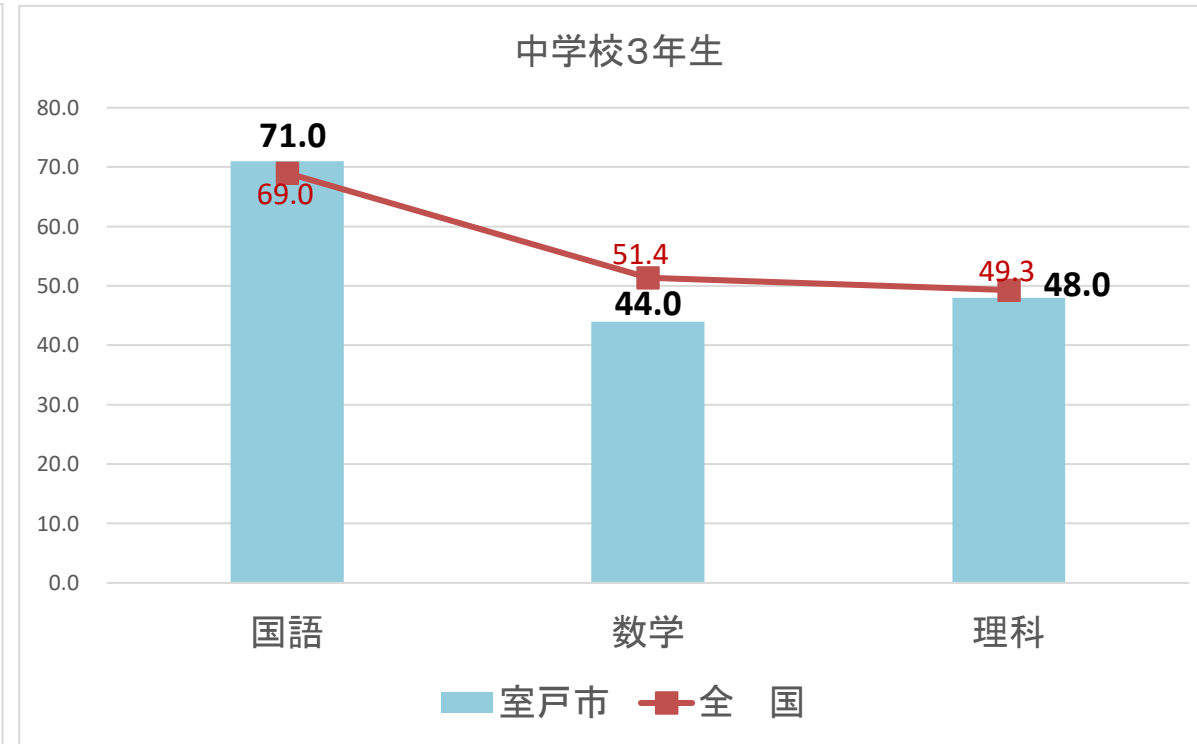
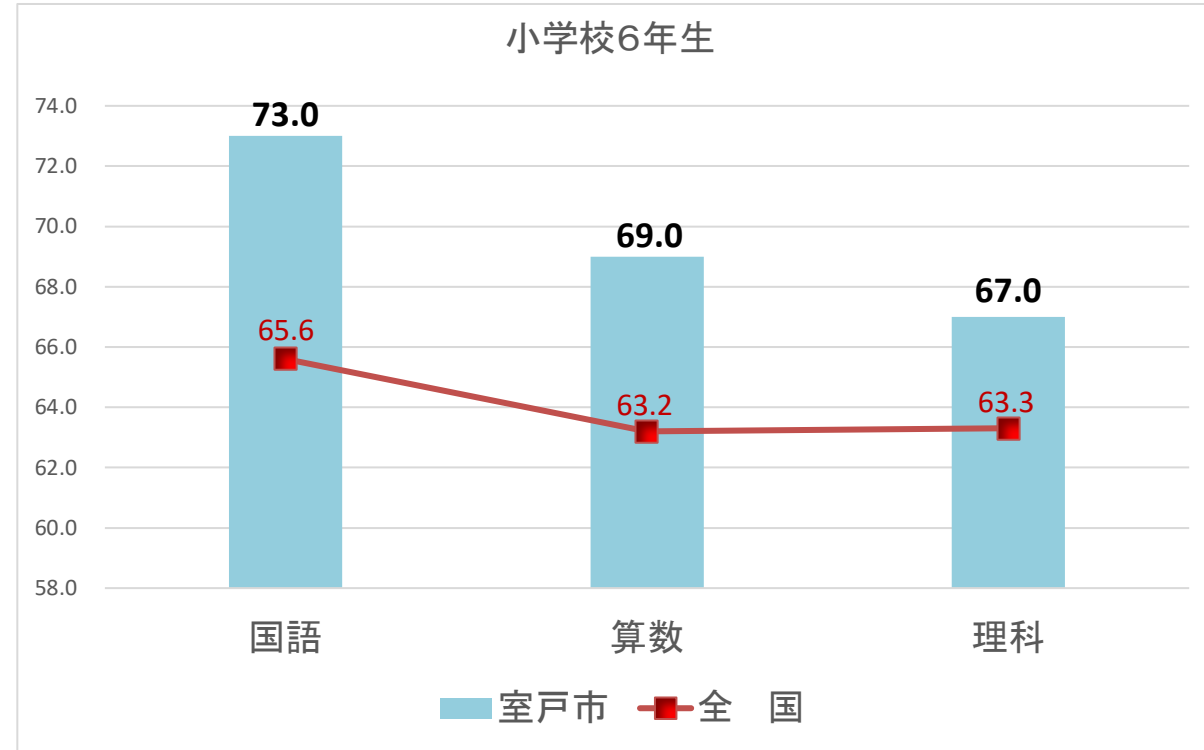


室戸市の子どもたちの「令和4年度 全国学力・学習状況調査結果」について

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習の状況を把握し、学校での授業改善に活用したり、家庭等と協力して子どもたちの生活を見直したりする目的で実施されています。

今年度は国語、算数・数学、理科の3教科と質問紙調査が実施されましたので、室戸市の子どもたちの結果についてお知らせします。

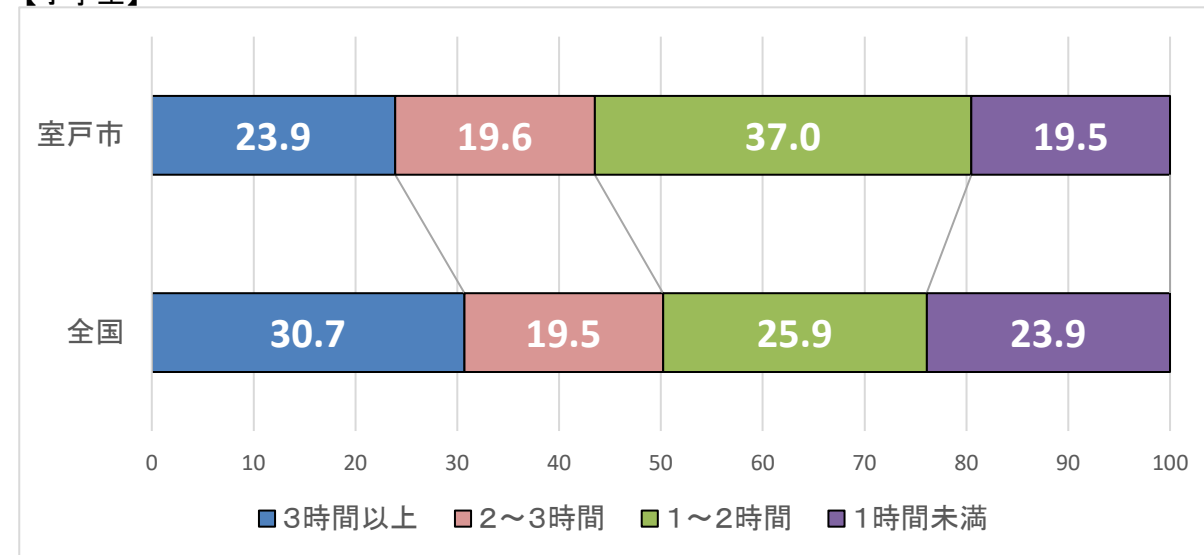
各教科の調査結果について



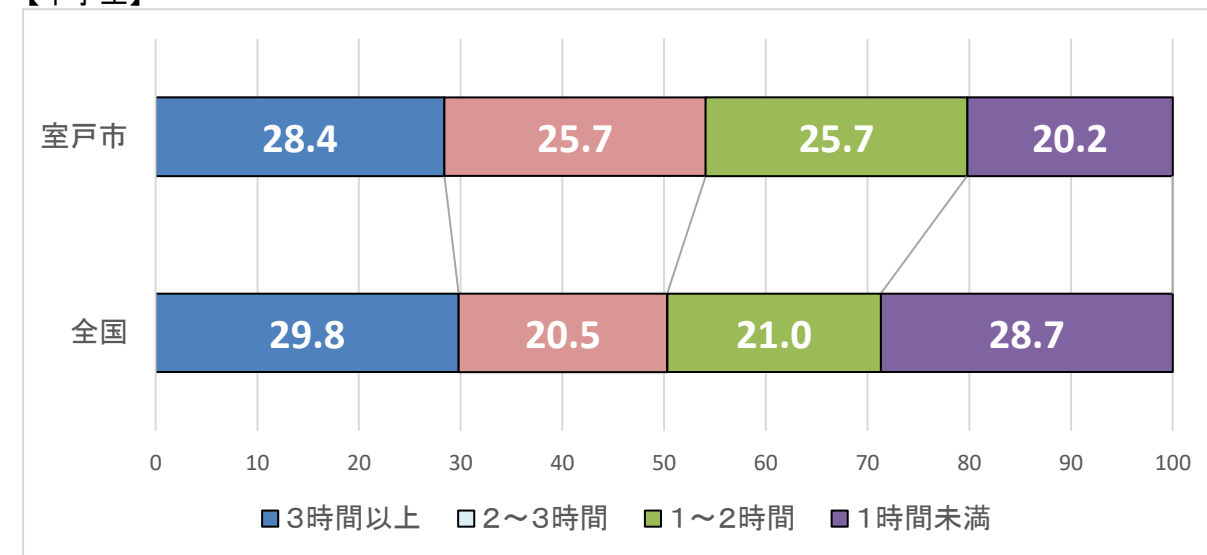
質問紙調査について(抜粋)

平日のゲームの使用時間について(携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)

【小学生】

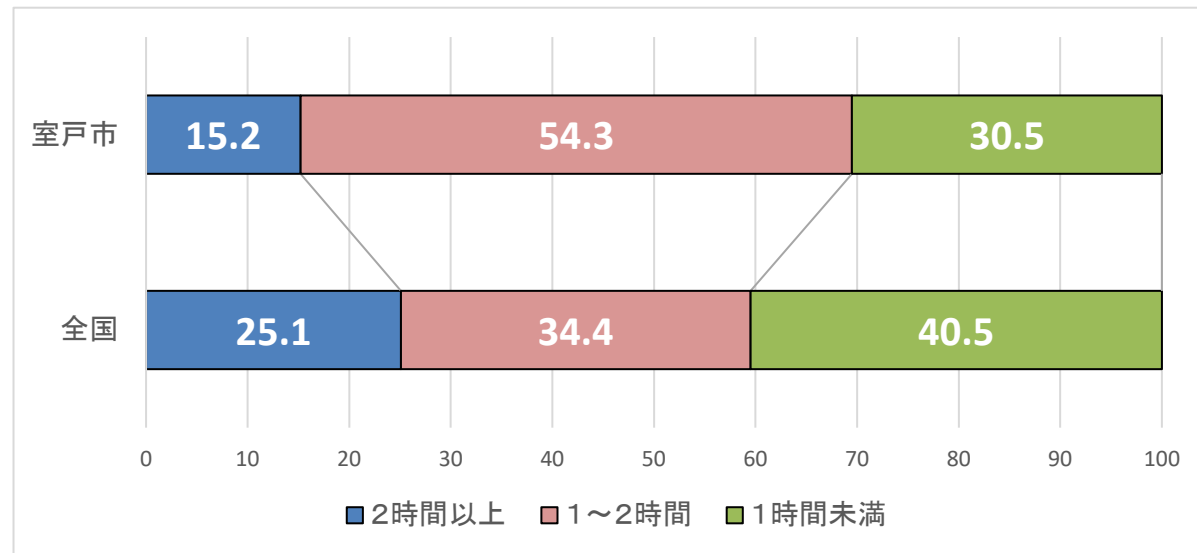


【中学生】

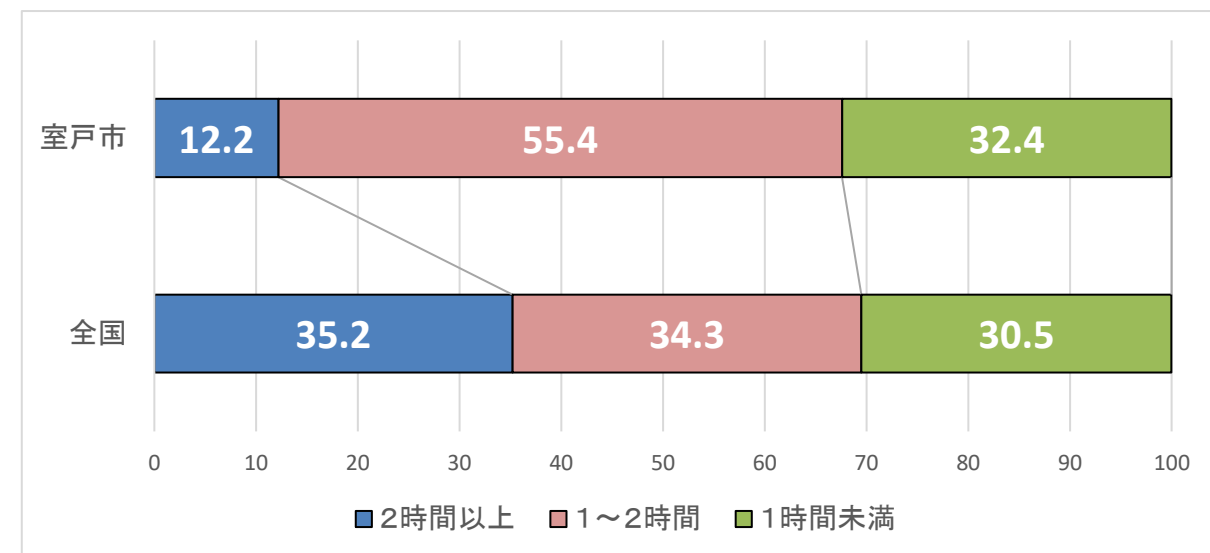


平日の家庭学習時間について(学習塾、家庭教師、インターネットでの学習を含む)

【小学生】



【中学生】



各教科の調査結果では小学校は全ての教科で正答率が全国平均を大きく上回る結果となりました。中学校では数学に課題がみられますが、国語と理科については全国平均とほぼ同等の結果となっております。各学校が学習指導要領の趣旨を踏まえ、子どもたちに育成すべき資質・能力を明確にした校内研修や授業改善の取組を組織的に行ってきた成果であると言えます。

質問紙調査からは室戸市内で小学校6年生で43.5%、中学校3年生では54.1%の子どもたちが平日2時間以上ゲームをしていること、また平日2時間以上の家庭学習の割合が全国と比較しても少ないことがわかります。

これからも保育所、小学校、中学校の連携教育の推進及び各学校での日々の授業改善や家庭学習の更なる充実に向けた取り組みを通して室戸市の子どもたちの学力向上につなげていきます。